

令和元年第5回定例会一般質問通告事項

12 月 6 日	藤本友行議員（政友会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 レジリエンス「予防する力と乗り越える力」について</p> <p>(1) 平成15年より導入した学校選択制により16年間に渡り地域コミュニティを弱体化させて来たコミュニティの再構築をどうサポートするのでしょうか。その他、答弁に差異があるものについてお答えください</p> <p>(2) コミュニティの基礎である公民館や運営に対する活動に町内会補助金等不公平感が持たれないような行政を行ってほしいものです。そろそろ格差の改善に向かえないものなのでしょうか、お答えください</p> <p>(3) 地域自治と協働のまちづくりの実践は、「地域」だけが変わるのではなく、「行政」も変わらなければならないといわれていますが「行政」は、何が変わったのでしょうか。お答えください</p> <p>(4) 「防災」「減災」の基本は、人に会える場所を「行政」としてどう造って行くか。だと言われています。その内容と成果をお答えください</p> <p>(5) 行政内部で地域コミュニティの再構築に向けた会議を開いたことがありますか。その内容と成果をお答えください</p> <p>(6) 協働のまちづくりが制度疲労しているといわれていますが、市の依頼事項等抜本的見直した事例をご提示ください</p> <p>(7) 予算編成方針の中でいわれている全ての事業について徹底した見直しを行うとされています。令和2年予算編成方針以前5年間で見直しした事業を年度ごとに提示ください</p> <p>(8) 令和2年末には、公共施設等個別計画書の完了年度となっており30年間で25%削減することとしております。縦割利用されていた施設利用を自由に利活用しなければいけない時代となります。行政として今までにない利用、活用権限を受け入れる覚悟も必要な時代となります。その覚悟をお答えください</p>	